

看護研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座では、下記の看護研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：看護大学生の漢方に対する関心とイメージおよび演習前後の変化

1. 研究の概要

漢方は中国起源であり、5世紀に日本に伝わった医学です。その後日本国内で独自の発展をし、江戸時代には人々にとって主流の医学となりました。しかし、明治時代に入るとドイツ医学が採用され、漢方は医学教育の制度から除外されました。そして100年以上に渡り、わが国の公的な医学教育制度において漢方教育を受ける機会は消失していました。しかし、2001年の医学教育モデル・コア・カリキュラムには「和漢薬を概説できる」が示され、現在全82大学で漢方教育が実施されています。

一方、看護師養成所の指定カリキュラムには漢方に関する記載はなく、看護師養成機関における漢方教育導入率は3.6%との報告もあり、大多数が漢方に関する知識を持たず、卒業しているのが現状です。4年制大学においては、2017年に看護教育モデル・コア・カリキュラムにおいて、「主な治療薬の作用、機序、適応、有害事象及び看護援助を説明できる」の中に和漢薬（漢方薬）が含まれました。これを機に今後は看護師養成機関においても漢方教育が広がっていくことが考えられます。しかしその具体的教授内容、方法などは検討が必要な段階です。

2. 目的

本研究の目的は、看護大学生の漢方演習前後における、漢方への関心、イメージとその変化を明らかにすることです。なお、この研究は、看護における漢方教育に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2021年3月31日まで行われます。

4. 対象者

2019年度の宮崎大学医学部看護学科2年生で、2019年11月21日、29日に実施された、疾病・治療論における漢方演習を受講された方が対象となります。

5. 方法

上記の演習前後で実施したアンケート調査結果を解析し、演習前後での関心とイメージの変化を明らかにします。また、自身の感じる健康状況、肩こりなどの症状頻度と演習前後の関心を分析し、漢方への関心の影響要因を検討します。

なお、個人情報管理者は、宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座の金岡麻希です。演習時に提出していただいた、アンケート調査用紙（漢方に関する関心、漢方に対するイメージ、自身の感じる健康状況、肩こりなどの症状頻度、学びや感想の自由記述）を分析対象とします。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報(どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。

9．研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10．研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する統合臨床看護科学講座の研究費で賄われます。また、株式会社ツムラから学生教育用として薬剤の無償提供を受けています。

なお、この研究の実施責任者と研究担当者は、本研究に関連する企業および団体等から経済的な利益の提供を受けているため、利益相反^{注1)}は発生しますが、「宮崎大学医学部等における臨床研究等利益相反マネジメント規程」に従い、この研究の公正な実施に影響が出ないよう配慮いたします。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11．研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部看護学科 統合臨床看護科学講座

氏名 金岡 麻希

電話：0985-85-9824

FAX：0985-85-9824